



MESSAGE FROM THE PRINCIPAL'S OFFICE

校長室だより

河内長野市立高向小学校

冬休み号

令和5年12月22日

先週は、12月とは思えないような暖かさの中、低学年と中学年の遠足に行くことができました。ビッグバンでも、キッズプラザ大阪でも、2学期の仲間づくりのまとめとして、なかよく楽しくを目標に、よい思い出を作ってくれたようです。

今年一年間、保護者のみなさま、地域のみなさまには、子どもたちのために、あたたかなご理解とたくさんのご協力をいただき、学校教育活動をより充実したものにすることができました。心より御礼申し上げます。

今週に入り、ぐっと寒さが増して冬らしくなりました。年末年始に向けて元気に過ごすことができるよう、お身体を大切に、みなさまよいお年をお迎えください。

3年目を迎えた高向小学校「BE A HERO」プロジェクト —12月の人権週間を受けて—

国連が定める世界人権デーの12月10日を最終日として、日本でも人権週間が設けられています。高向小学校では、お互いの人権を尊重し、いじめを未然に防ぐ「BE A HERO」プロジェクトに取り組んで3年目となりました。

この2学期、低学年では昨年の「ホアロハタイム」に続く「ほっかほかタイム」で、「HERO」について学び、「こんなとき、どうする?」と考えてきました。代表委員の子どもたちは、プロジェクトを分かりやすく伝え、身近に感じてもらえるよう「HERO キャラクター」を作成してくれました。



この「HERO」は、仲間同士で起こるトラブルを考えるためのものさしでもあります。子どもたちが自分の行動を振り返る時に、「ヘルプが自分から出せたね」「言い合いになってしまったけれど、どんな考えがあれば上手くいきそうかな」など、「ごめんね」「いいよ」だけでなく、トラブルの原因に正しくアプローチして考えることで、自分からよりよい行動ができるようになることをめざしています。以下にHERO メソッドを紹介します。

(参考文献:『「いじめ」をなくす!—「BE A HERO」プロジェクトの挑戦』東洋館出版社)

➡まずは、自分たちにある、「アンバランスパワー」と、「シンキングエラー」に気づくこと。

< いじめを深刻化させる要因—「アンバランスパワー」と「シンキングエラー」例— >

- ・あの子には力がある/年上だ(アンバランスパワー)から、何も言えない(シンキングエラー)。
- ・「自分で何とかしなさいと言われた」「助けを求めるなんてカッコ悪い」(シンキングエラー)。
- ・自分のしたことは「些細なこと」「遊びだった」「相手が先」などと正当化(シンキングエラー)して、やめられない。



➡よい行いをふやして、いじめを防止しよう。～周りにいる友だちこそ、いじめを止める力になる。～

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| H … Help (ヘルプ) | 友だちを助ける勇気、助けを求める勇気をもつ |
| E … Empathy (エンパシー) | 弱者の気持ちに共感する |
| R … Respect (リスペクト) | どんな相手も尊重する |
| O … Open-mind (オープンマインド) | 心を開き、みんなを受け入れる |



➡思春期という難しい時期には、大人も一緒に考え、行動を変えてみせる。

- 大人も HERO メソッドを意識して、子どもたちのよいモデルになる。

我々教職員も至らない点が多くあり、子ども支援委員会ははじめ、日々反省と検討を繰り返しております。今後もHERO メソッドに学びつつ、子どもたちの実態に合わせてプロジェクトを進めていきます。お子さまの様子で気になることなどありましたら、ご遠慮なくお知らせくださいますようお願いいたします。